

## 平成21年度 事業報告

平成21年度事業も無事終了しましたので、事業報告を申し上げます。

公益法人への移行については、当会の最重点事業として位置づけ、公益社団法人格取得に向けて、定款・諸規程検討委員会を組織し検討してまいりました。二カ年間にわたる検討と、コンサルティング業者の診断に基づいて思慮した結果、公益認定を取得するか否かの判断を平成22年度からの新執行部に委ねることとしました。

昨年7月30日、31日に、(社)神奈川県臨床衛生検査技師会の支援の下、第58回日本医学検査学会に併設する形で第3回「アジア臨床検査技師会(AAMLS)学会」をパシフィコ横浜において盛会裏に開催しました。

関連団体への対応としましては、日本マタニティビクス協会のベビーフェスタへの技師派遣、国際医療技術学生合同セミナーへの講師派遣を始めとして、各団体に役員を派遣し対応いたしました。

国民向けの臨床検査啓発活動として、中日(東京)新聞に「臨床検査のはなし」を連載し、好評を博しました。

昨年度に引き続き、公益事業に対して積極的な予算措置を講じ、43都道府県技師会のご協力を得て、134の公益特別事業を実施し、広く国民の健康増進に多大な貢献をしました。

臨床検査の生命線である臨床検査精度管理調査と臨床検査データ標準化事業は、都道府県技師会の会員皆様のご尽力で、本年度も当初の事業計画に沿って順調に進捗しました。本年度精度管理調査の参加数は過去最高の3,558と昨年より74増加しました。臨床検査データ標準化事業につきましては本事業3カ年計画が終了し新たな段階に入りますが、この事業の発展的継続を新執行部に委ねたいと考えます。引き続き会員の皆様に特段のご支援を賜りたいと存じます。

学術活動については、昨年度に引き続き生涯教育研修制度の履修率向上に向けて積極的に取り組みました。各種研修会・講習会の開催と、地区学会、医学検査学会はいずれも計画通り盛会裏に終了しました。

健康増進普及啓発事業として、＜世界医学検査デー・臨床検査普及月間＞における臨床検査の啓発活動、＜がん征圧、乳がん撲滅＞に関する事業、＜世界糖尿病デー＞における臨床検査技師による糖尿病予防フォーラム、＜世界エイズデー＞におけるエイズ・STI予防に関する事業、生活習慣病予防啓発に関する事業を都道府県技師会の積極的な協力を得ながら実施しました。

以上、主な事業についてご報告申し上げます。社会が大きく変動するなか、国民から信頼される公益社団法人として、国民の医療及び公衆衛生の向上に貢献する決意を新たにし、平成21年度事業報告といたします。

## ◇ 監理

### 1. 公益認定取得について

「公益認定」取得に向け定款・諸規定検討委員会にて改正案を検討した。

公益社団法人に移行するか一般社団に移行するかに関し、コンサルティング業者に診断を依頼した結果、公益社団法人への移行の助言を受けた。

### 2. 組織執行体制

#### 1) 会務執行体制

現執行体制により各事業を展開した。

#### 2) 諸会議の開催

理事会をはじめとする各種会議は電子会議を含めて行い、概ね予定どおり開催した。

### 3. 監査

業務監査、会計監査を次の日程で受けた。

1) 平成21年4月21日(火) 平成20年度監査

2) 平成21年10月21日(水) 平成21年度中間監査

### 4. 定期総会の開催

定期総会を予算総会および決算総会の年2回開催した。

#### 1) 平成21年度第1回定期総会<決算総会>

日 程：平成21年4月25日(土) 午前10時～午後1時

会 場：東京都大田区<大森東急イン>

出席者数：34,913名(当日出席者：132名、委任状出席者：34,781名)

#### 2) 平成21年度第2回定期総会<予算総会>

平成22年3月27日(土) 大森東急イン フォレストルームにおいて開催を予定している。

### 5. 代議員会の開催

平成22年1月23日(土)大森東急インで開催した。

### 6. 会長を囲む夕べ

都道府県技師会の申請による「会長を囲む夕べ」(講演依頼は除く)に出席し意見交換した。

### 7. 行政、その他への対応

#### 1) 厚生労働省

医療事故情報収集等事業報告書公表の通知を受け、ホームページへ掲載した。

#### 2) 政党

(1) 平成21年12月8日(火)、公明党臨床検査技師制度改革議員懇話会に平成22年度予算編成に関する要望書<臨床検査データの標準化と精度保障に関する事業>を提出し、説明した。

### 8. 関連団体・学会への対応

1) 関係団体に対し基本的には従来どおり派遣をはじめとして対応した。特に当会と同格の法人組織に対し、また、当会と基本方針を異にする対応は慎重に行った。

2) (独)日本学生支援機構と(財)JIMTEFが主催する「国際医療技術学生合同セミナー」に講師を派遣し参画した。

3) 日本マタニティビクス協会より協力依頼の「マタニティ&ベビーフェスタ2009」に参画した。

## 9. 臨床検査の紹介

中日新聞(東京新聞)のコラムに「臨床検査のはなし」を連載し、国民向けに“臨床検査”の紹介をした。平成20年11月7日より平成22年3月31日まで

◇ 発行部数：中日新聞(中部地区)と東京新聞(関東甲信地区)を合わせて約400万部

## 10. 平成21年度「医療安全推進週間」への対応

例年のとおり厚生労働省より平成21年度「医療安全推進週間」(11月22日～28日)への後援依頼があり対応した。

## 11. 平成21年度健康増進普及月間

国民健康増進協力事業として「傷絆創膏」125,000部を作製し都道府県技師会協力の下、国民に配布広報した。

## 12. 女性部会の設置

臨床検査<技師会活動を含み>を女性技師の視野から多角的に検討し答申を受けた。

## 13. 公益事業企画推進委員会の設置

当会が行うべき公益事業を統括するとともに事業を推進した。

## 14. 診療報酬改定対策委員会の設置

診療報酬改定対策委員会を設置し、平成21年9月24日に次期改定要望書を厚生労働省に提出した。

## 15. 倫理問題に関する啓発活動の実施

日本臨床検査薬協会が実施する8地区における「臨床検査業務上の倫理」についての勉強会へ地区担当理事を中心として参画し、会員への啓発活動を行った。

## 16. 各種団体への派遣

日本医師会をはじめとする各種団体へ役員等を派遣した。

## ◇ 事務局

## 17. 主務官庁への報告

以下の文書を厚生労働省へ提出した。

- 1) 「平成21年度事業計画書・予算書」
- 2) 「平成20年度事業報告書・決算書」
- 3) 「第58回日本医学検査学会報告書」
- 4) 「第3回AAMLS学会報告書」

## 18. 会員数

平成21年12月31日現在の会員登録状況(JAMTIS)は、次のとおりである。

- ◇ 会員登録数 49,682名 (前年同期 49,419名)
- ◇ 継続会員数 46,649名 (前年同期 46,309名)
- ◇ 新入会員数 3,033名 (前年同期 3,110名)

## 19. 諸会議

理事会・部会議・委員会の開催状況

### (1) 理事会・部会議

◇ 理事会	7回
◇ 常務理事会	4回
◇ 組織制度部	0回
◇ 財政経理部	3回
◇ 情報調査部	2回
◇ 学術事業部	8回
(生涯教育)(渉外・各種認定)	
◇ 出版事業部(図書発刊企画委員会合同開催)	6回
◇ 精度保障事業部	0回
◇ 国際事業部	0回

### (2) 各種委員会<メール会議含む>

◆ 定款諸規定検討委員会	3回
◆ 公益事業企画推進委員会	4回
◆ 人事委員会	2回
◆ 倫理委員会	0回
◆ 委託事業検討委員会	0回
◆ 医療安全対策委員会	1回
◆ 環境問題対策委員会	0回
◆ 診療報酬対策委員会	13回
◆ 女性部会	4回
◆ 表彰委員会	1回
◆ 役員推薦委員会	3回
◆ 選挙管理委員会	4回
◆ 予算委員会	1回
◆ 個人情報保護委員会	0回
◆ ICT戦略委員会	4回
◆ ホームページ委員会	4回
◆ 総合生涯教育委員会	0回
◆ 検査研究部門会議	6回
◆ 学会組織委員会	4回
◆ 学会運営部会	6回
◆ e-ラーニング推進委員会	0回
◆ 各認定制度協議会・審議会	1回
◆ 認定中央委員会	1回
◆ 各認定制度部会・WG	12回
◆ 各認検査技師制度あり方検討委員会	9回
◆ 図書発刊企画委員会	6回
◆ 「染色体遺伝子の基礎と臨床応用」編集部会	2回
◆ 「臨床検査精度保証」編集部会	2回
◆ 総合精度保障委員会	0回
◆ 精度管理調査委員会	8回
◆ 精度管理WG	16回

◆ データ標準化委員会	0回
◆ 検査値標準化WG	4回
◆ 第3回AAMLS学会運営委員会	5回
◆ 第3回AAMLS学会実行委員会	1回

## 20. 無料職業紹介事業

2名の職業紹介協力者を含めて事業を継続推進している。就職決定者は減少傾向にあり、平成21年4月から22年3月までの採用決定者は8名であった。

## 21. 広報宣伝活動

- 1) 臨床検査の普及啓発のための「臨床検査技師紹介リーフレット」を都道府県技師会経由で国民、会員所属施設ほか関係施設へ配布した。
- 2) 各都道府県の「健康フェア」等に使用する目的で、都道府県技師会の依頼により臨床検査紹介のリーフレットを配付、またパネルの貸し出しを行った。

## 22. 日臨技会館の維持管理

- 1) 日臨技会館の有効利用を図り、地区技師会へ会議室の貸し出しを行った。
- 2) 定期的なメンテナンスやセキュリティ徹底管理を図った。

## 23. 日臨技リンクス

- 1) 当会ならびに都道府県検査技師会務に携わる会員に対する傷害保険の普及推進を行った。  
平成21年の加入者数は 2,533名であった。
- 2) 団体普通傷害保険の加入<New リンクス>  
都道府県技師会理事等に対する団体普通傷害保険の普及推進を行った。  
平成21年の加入者数は 3,055名であった。補償内容は以下のとおりである。
  - ◆ 死亡もしくは後遺障害：150万円
  - ◆ 入院：2,000円(日額)
  - ◆ 通院：1,000円(日額)
- 3) 普通傷害保険の加入  
全会員に対する普通傷害保険に加入した。補償内容は<死亡もしくは後遺障害に対する見舞金：10万円>である。

## 24. 臨床検査技師賠償責任保険

平成21年の任意加入者数は 15,419名(全会員の約 31%)であった。

現在の保障内容は、以下のとおりである。

- ◇ 全員加入分：上限が100万円とする賠償責任費用、弁護士費用・示談金が支給
- ◇ 任意加入分：初期対応費用(見舞金)、弁護士費用、示談金や賠償責任費用 等

## 25. 各種割引制度

会員への福利厚生事業の普及推進を行った。

- 1) 集団扱自動車保険(通常の掛け金より安い保険料)
- 2) 自動車購入紹介制度(有利な条件での自動車購入が可能)
- 3) バラエティーローン(融資制度)
- 4) 住宅購入のアドバイス(積水ハウス)

## 26. JAMT共済ネット

当会ホームページに「JAMT共済ネット」(保険・各種会員割引制度・生活情報サービス)を掲載し、会員福利厚生制度の普及推進を行った。

## 27. 表彰事業

- 1) 平成20年度の各種表彰は、平成21年度第1回定期総会において執り行った。  
永年職務精励者表彰1,164名をはじめ、特別賞 2名、功労賞 4名、会長賞 2名  
優秀論文賞6篇、優秀演題賞7篇であった。
- 2) 平成21年の各賞被表彰候補者の推薦を依頼した。推薦依頼対象者は以下のとおりである。  
尚、決定は表彰委員会の審査に基づき決定表彰は平成22年度に執り行うこととなる。
  - (1) 永年職務精励者表彰：都道府県技師会長
  - (2) 日臨技有功賞  
会長賞・功労賞： 都道府県技師会長、地区会長、日臨技理事  
特別賞： 日臨技会長
  - (3) 優秀論文賞： 都道府県技師会長、地区会長、日臨技理事、検査研究部門長、会誌医学検査編集担当者および自薦
- 3) 日韓交流功労賞を国際事業部の推薦に基づき決定した。
- 4) その他、結核研究奨励賞被表彰候補者を選考し同審査委員会へ推薦した。

## ◇ 財政経理部

### 28. 一般会計収支状況

平成21年9月30日現在の収支状況は、当初予算額に対して、収入の部では会費収入が99.1%、支出の部では事業費32.2%、管理費32.6%、支出合計では37.0%の比率となっている。

また、新規並びに重点事業に対し補正予算を組み対応した。

- 1) 精度保障(標準化)事業
- 2) 国民医療向上・安全対策事業
- 3) 渉外事業
- 4) 組織対策事業
- 5) 学術技術振興事業

### 29. 各種助成金・分担金

以下の項目について、各地区並びに各都道府県技師会へ助成を行った。

- 1) 平成21年度地区会議、地区学術活動、地区学会補助金
- 2) 国民医療助成金(廃止：総会委任状回収委託料・技師会業務(施設資料郵送助成金を含む))
- 3) AED(自動体外式診断除細動装置)講習会開催
- 4) 生涯教育研修制度
- 5) 検査研究部門研修会
- 6) 日臨技共催公益事業(健康まつり、がん・AIDS等)

### 30. 効率的な財務運営の推進

継続会員の前納の確保のため、会員カードの見直し、会費等の納入に関する自動引き落とし制度について検討を行った。

### 31. 会費未納者対策

平成21年度会費及び入会金の未納に対して、地区担当理事を通して都道府県技師会長に会費納入を依頼した。

## ◇ 組織制度部

### 32. 組織強化

各地区連絡協議会へ役員を派遣し、日臨技事業活動方針および事業活動状況を迅速かつ適正に伝達した。

### 33. 公益社団法人制度への対応

公益認定の申請準備として、定款・諸規程検討委員会において「定款・諸規定」の検討を行った。

### 34. 公益特別事業健康増進普及啓発活動について

#### 1) 健康増進普及啓発事業

##### (1) <世界医学検査デー・臨床検査普及月間>における臨床検査の啓発活動

平成21年4月11日(土)～17日(金)に全国30会場にて、大型街頭VISIONを使用して生活習慣病啓発映像を放映した。

##### (2) がん征圧、乳がん撲滅に関する事業

平成21年9月・10月に、30万円を36都道府県技師会に事業委託し啓発事業を実施した。

##### (3) <世界糖尿病デー>における臨床検査技師による糖尿病予防フォーラム

<世界糖尿病デー・11月14日>の趣旨に賛同し公益事業の一環として、平成21年11月15日(日)、国民を対象に東京、大阪において“臨床検査技師による糖尿病予防フォーラム”を開催した。

【東日本地区】場所：東京ステーションコンファレンス サピアタワー 6階フロア  
内容：市民公開講演会、パネルディスカッション、簡易血糖検査体験コーナー、展示・試食・試飲体験コーナー

【西日本地区】場所：大阪国際交流センター

内容：講演会イベント（特別講演・教育講演・パネル討論会）  
健康相談体験イベント（相談・体験・健康食品コーナー）

##### (4) <世界エイズデー>におけるエイズ・STI予防に関する事業

エイズ予防啓発ポスター、小型リーフレットを作成し各都道府県技師会に送付し、会員所属施設並びに学校、公共施設、関係団体等への配布と掲示を依頼した。  
平成21年11月28日(土)～同年12月に、30万円を43都道府県技師会に事業委託し、啓発ポスター、啓発ティッシュを配布、啓発事業の実施および健康祭り等へ参画した。

##### (5) 生活習慣病予防啓発に関する事業

平成22年2月に、30万円を25都道府県技師会に事業委託し啓発事業を実施した。

#### 2) 全国感染症予防撲滅対策活動

感染症の予防および撲滅に向けて、「新型インフルエンザ対策緊急研修会」を開催した。

「新型インフルエンザ対策緊急研修会 新型インフルエンザ第2波に備えて」

日 時：平成21年9月6日(日)

会 場：日本教育会館・一ツ橋ホール(東京都千代田区)

### 35. 日臨技共催公益目的事業への対応

公益事業に限定した「日臨技と各都道府県技師会共催事業」として24道府県技師会、35事業を認定し費用支出を行った。その道府県は以下のとおりである。

大阪(4)、北海道(3)、岐阜(3)、青森(2)、富山(2)、京都(2)、鳥取(2)、秋田、宮城、新潟、群馬、神奈川、千葉、静岡、兵庫、和歌山、広島、山口、愛媛、香川、福岡、宮崎、長崎、熊本

### 36. AEDに関する実技講習会

昨年同様に国民を対象としたAED実技講習会を開催し7都道府県技師会に助成を行った。

北海道、埼玉、東京、島根、福岡、長崎、宮崎

### 37. 医療安全対策への対応

医療安全に関する資質の向上及び管理者を目指す会員の実践を目的とする研修会を実施した。

「医療安全対策・臨床検査安全管理者研修会」

日 時：平成22年1月22日(金)

会 場：大森東急イン(東京都大田区)

## ◇ 情報調査部

### 38. 組織調査・情報技術関連

組織対策についても各種アンケートの分析やそれを基にした企画を行い、情報組織としての一元化を図ってきた。組織調査に関しては、現在調査中であり、継続性のナレッジ・データベースの構築を企図している。

また、第三次マスタープラン並びに平成18年度ICT戦略委員会提言に基づき、検査技師養成課程カリキュラムを踏まえながら、臨床現場の検査技師、情報教育担当、大学大学院生をターゲットにした「検査技師のための情報技術ガイド」を作成中である。

さらに、デジタルデバイド解消の一環としてデータベース活用スキルアップ研修会を本年度中に開催する予定であったが、会場の都合により次年度早々に開催することとした。

### 39. JAMTIS関連

昨年度の総合情報管理委員会の検討事項である「新公益法人を見据えた情報システム構築」に基づき検討し、システム自体のスリム化を目的とした再構築案を作成した。

47都道府県になるべく簡単に利用してもらうことを主旨とし、VPNはPPTPのネットワーク一端末接続形態をとる。日臨技・各都道府県の事務処理機能の効率化および公益法人化後の管理機能の切り分け・住み分けが容易となる。

PPTP：セキュリティはIPSecに劣るがWindowsに標準実装されている。

アプリケーションの形態：リアルタイム接続型。

### 40. ホームページ関連

国民のための検査に関する安全と安心に関する情報をホームページのマイナーチェンジを随時実施し、発信基地としての役割に努力した。

1) 厚労省発出通知及び情報

2) 第3回AAMLS学会を始め英文ページの充実を図った。

3) 国民を対象とした特定健診(メタボ健診)など臨床検査情報の動画で提供した。

4) 公開講演会、研修会等をビデオライブラリーとし一部を動画配信で提供した。

- 5) 中日新聞に掲載されている「検査のはなし」を掲載した。
- 6) ICT戦略委員会答申を受けて会員のための「eラーニング」の試行を行い、アンケート調査を基にした改定版を作成しオープンした。更に、ライブラリーの追加、ビデオ教材の充実、会員からの意見公募や各種Q&Aなどの対応を目的とした掲示版の開設を試行した。

#### 41. eラーニングの導入

技術熟練者による技術指導にeラーニングの導入を検討するため、eラーニング推進委員会を設置し具体的な内容の検討に入った。平成22年度より本格的に移動できるよう準備中である。

### ◇ 精度保障事業部

#### 42. 臨床検査精度管理調査

今年度調査は、輸血検査の血液型検査に加え、昨年度までオプション項目であったヘモグロビンA1c、微生物検査の塗抹検査の3つを基本項目に追加し、診療報酬点数改訂に伴う検体検査管理加算に対応できるよう実施した。参加施設数等は以下のとおりである。

- ◆参加施設数 : 3,558施設で、昨年より74施設の増加であった。
- ◆調査結果回答方法 : Webは2,185施設(61.4% : 前年度44.5%)、  
FDは1,373施設(38.6% : 前年度55.5%)であった。
- ◆評価方法 : 前年度に引き続き、評価対象問題には○、△、×の評価を行った。

#### 43. 臨床検査精度管理調査報告会

昨年度に引き続き、総合報告会を平成22年3月6日(土)によみうりホール(東京都千代田区)で開催し、370名の参加を得た。

#### 44. 臨床検査データ標準化事業

- 1) 事業2年目となる昨年度から47都道府県技師会全てが参加し、最終年度である本年はそれに加え衛生検査登録所6施設の参加を得て合計171基幹施設と検査値標準化ワーキンググループが連携を取り標準化を推進した。また、全国都道府県の基幹施設を中心に標準化が検証された施設による基準範囲設定事業を進めた。
- 2) 臨床検査データ標準化事業は都道府県技師会と共に展開することが必須であるため、臨床検査データ標準化事業全国代表者会議を平成21年4月25日(土)に開催した。
- 3) 臨床検査データ標準化および臨床検査精度管理調査のデータ処理システム再構築のための仕様を作成し、構築に向け作業を進めた。

#### 45. 日本臨床検査標準協議会(JCCLS)

日本臨床検査標準協議会に役員を派遣した。また、ISO/TC212国内検討委員会WG1~4、尿検査標準化委員会WG1、認証委員会、標準物質トレーサビリティ認証委員会に委員を派遣し、事業に参画した。

#### 46. 日本医師会精度管理調査事業への参画

日本医師会精度管理検討委員会に委員を派遣し、専門職種の立場から協力した。

## ◇ 学術事業部(生涯教育)

### 47. 検査研究部門研修会

平成21年度の部門研修会を以下のとおり開催した。

#### 1) 生物化学分析部門

- (1) 信頼性のあるデータを、自信を持って報告するための対策法(領域：臨床化学)  
開催日程：平成21年6月27日(土)・28日(日)  
開催地：秋田県 秋田県生涯学習センター分館ジョイナス  
参加者数：65名  
派遣役員：小野常務理事
- (2) 肝炎ウイルスと甲状腺疾患検査における最新の話(領域：免疫血清)  
開催日程：平成21年7月18日(土)・19日(日)  
開催地：福岡県 九州大学西新プラザ  
参加者数：63名  
派遣役員：長迫常務理事
- (3) 遺伝子検査の現状と新たな展望(領域：遺伝子・染色体)  
開催日程：平成21年8月22日(土)・23日(日)  
開催地：長崎県 長崎大学病院医学部講義室  
参加者数：21名  
派遣役員：吉田理事
- (4) 臨床化学分析用試薬の特性を極める(領域：臨床化学)  
開催日程：平成21年11月14日(土)・15日(日)  
開催地：兵庫県 神戸常盤大学  
参加者数：56名  
派遣役員：中山理事

#### 2) 生理機能検査部門

- (5) 術中モニタリングにおける基礎と臨床(領域：神経平衡感覚機能)  
開催日程：平成21年5月30日(土)・31日(日)  
開催地：埼玉県 大宮法科大学院 2階講堂  
参加者数：96名  
派遣役員：五内川常務理事
- (6) 初歩から学ぶ生理機能検査(領域：全般)  
開催日程：平成21年6月20日(土)・21日(日)  
開催地：高知県 高知城ホール  
参加者数：49名  
派遣役員：長迫常務理事
- (7) 指導者育成のための心電図研修会(領域：循環機能)  
開催日程：平成21年9月12日(土)・13日(日)  
開催地：東京都 日本大学医学部記念講堂  
参加者数：164名  
派遣役員：吉田理事
- (8) エキスパートに聞く一乳房超音波の基礎と診断(領域：画像)  
開催日程：平成22年1月16日(土)・17日(日)  
開催地：宮城県 東北大学病院 医学部臨床講義棟  
参加者数：93名  
派遣役員：番場理事

- (9) 見直そう呼吸機能検査－検査原理から精度管理まで－(領域：呼吸機能)

開催日程：平成21年2月6日(土)・7日(日)

開催地：福岡県 TNC放送会館 3階会議室

参加者数：73名

派遣役員：長迫常務理事

### 3) 形態検査部門

- (10) どげんかせんといかん!!この秋あなたの施設の一般検査室は変貌を遂げる(領域：一般)

開催日程：平成21年9月20日(土)・21日(日)

開催地：宮崎県 宮崎大学医学部 講義実習棟

参加者数：100名

派遣役員：百田理事

- (11) 検査室からの臨床支援(領域：血液)

開催日程：平成21年8月22日(土)・23日(日)

開催地：北海道 札幌医科大学

参加者数：64名

派遣役員：及川常務理事

- (12) 日常の細胞診業務の向上にむけて(領域：細胞検査)

開催日程：平成21年10月3日(土)・4日(日)

開催地：兵庫県 兵庫医科大学

参加者数：58名

派遣役員：中山理事

- (13) 術中迅速病理診断における迅速組織標本作製技術と応用講義と実習(領域：病理)

開催日程：平成21年12月12日(土)・13日(日)

開催地：富山県 富山国際会議場

参加者数：96名

派遣役員：直井理事

### 4) 感染制御検査部門

- (14) 臨床検査技師が知っておくべき知識・技術(領域：寄生虫)

開催日程：平成21年7月18日(土)・19日(日)

開催地：岡山県 川崎医療短期大学

参加者数：51名

派遣役員：相山常務理事

- (15) 薬剤耐性菌制圧のstrategy - 最新情報と検査法の整理- (領域：全般)

開催日程：平成21年11月27日(金)・28日(土)・29日(日)

開催地：東京都 東京大学医学部 1号館1階講義室、地下1階実習室

参加者数：63名

派遣役員：五内川常務理事

- (16) 病院感染とその対策入門(領域：全般)

開催日程：平成22年2月27日(土)・28日(日)

開催地：長崎県 長崎大学医学部

参加者数：55名

派遣役員：百田理事

### 5) 移植検査部門

- (17) 輸血療法と臨床支援を考える(領域：輸血)

開催日程：平成21年7月18日(土)～20日(月)

開催地：北海道 市立札幌病院・札幌医科大学

参加者数：65名

派遣役員：及川常務理事

(18) 腎移植と形態検査(領域：移植)

開催日程：平成21年9月6日(日)

開催地：東京都 東京女子医科大学

参加者数：41名

派遣役員：吉田理事

6) 総合管理部門

(19) 検査室のマネジメントツール(領域：企画運営)

開催日程：平成21年12月5日(土)・6日(日)

開催地：福島県 コラッセふくしま

参加者数：64名

派遣役員：百田理事

48. 日臨技奨励研究

平成21年度の日臨技奨励研究は以下のとおりであった。

1) 特別研究

(1) 泉 明佳：「重症型C型急性肝炎症例から検出されたGenotype 2a Hepatitis C Virus ウイルス学的特長の探索」

(2) 熊谷有紗：「CISH法の病理検体検査への応用と自動化の試み」

2) 助成研究

(1) 赤松紀彦：「パイロシーケンス法による抗酸菌の迅速同定検査」

3) プロジェクト研究

(1) 三浦玲子：「血液一般染色の染色性の見方の統一」

49. 生涯教育研修事業

一般教育研修課程の平成20年度の修了証書を、平成21年4月21日付けで4,880名に発行した。以降5名の修了者に修了証書を発行した。累計は4,885名であった。

単位技師会・地区技師会により生涯教育研修活動は活発に行われているが、登録の遅れる技師会も見られる。行事終了後は速やかに登録をお願いしたい。

50. 医療研修推進財団主催講習会への協力

財団法人医療研修推進財団が主催するこの講習会に引き続き協力し、臨床検査技師の資質の向上を図った。

《東地区》 平成21年10月15日(木)～17日(土)＜東京都大田区＞ 参加者数：88名

《西地区》 平成21年12月10日(木)～12日(土)＜大阪府大阪市＞ 参加者数：79名

51. 日本医学検査学会

日本医学検査学会を開催するとともに次期同学会準備に着手した。

1) 第58回日本医学検査学会(神奈川県)

開催期間：平成21年7月30日(木)～8月1日(土)

開催地：神奈川県横浜市

開催会場：パシフィコ横浜

メインテーマ：ケンサ元年 社会とともに歩む医学検査

サブテーマ：健康社会創造に、医学検査はどんな貢献ができるのか  
～ 患者へ・医療チームへ・病院経営へ・地域へ ～

学会入場者数：3,538名

展示入場者数：36,024名

2) 学会組織委員会、学会運営部会

学会組織委員会、第59回学会(和歌山県)、第60回学会(長野県)に関連する部会を開催した。

3) 第61回日本医学検査学会の担当県として三重県技師会から立候補届けを受理した。

## 52. 平成21年度各地区学会の開催

1) 第84回 北海道医学検査学会

日 程：平成21年10月17日(土)・18日(日)

会 場：北海道<函館市=函館国際ホテル>

参加者：451名

学会長：松田 直哉(社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院)

2) 第50回 東北医学検査学会

日 程：平成21年10月31日(土)・11月1日(日)

会 場：秋田県<秋田市=アトリオン>

参加者：672名

学会長：菅原 博之(財団法人 秋田県総合保健事業団 中央健診センター)

3) 第46回 関東甲信地区医学検査学会

日 程：平成22年2月6日(土)・7日(日)

会 場：千葉県<千葉市=幕張メッセ>

参加者：1051名

学会長：森 重彦(千葉社会保険病院)

4) 第48回 中部医学検査学会

日 程：平成21年11月7日(土)・8日(日)

会 場：静岡県<三島市=三島市民文化会館>

参加者：802名

学会長：泉 正和(浜松医科大学医学部附属病院)

5) 第49回 近畿医学検査学会

日 程：平成21年11月28日(土)・29日(日)

会 場：京都府<京都市=京都市勧業館 みやこめっせ>

参加者：1,842名

学会長：今井 秀一(綾部市立病院)

6) 第42回 中国四国医学検査学会

日 程：平成21年10月31日(土)・11月1日(日)

会 場：香川県<高松市=サンポート高松>

参加者：1,418名

学会長：野村 務(香川大学医学部附属病院)

7) 第44回 九州医学検査学会

日 程：平成21年10月10日(土)・11日(日)

会 場：長崎県<佐世保市=アルカスSASEBO>

参加者：1,157名

学会長：丸田 秀夫(佐世保中央病院)

## ◇ 学術事業部(渉外・各種認定)

### 53. 日臨技主導による認定制度

- 1) 認定心電検査技師制度認定試験を実施した。  
平成21年10月25日(日)、会場：日本損保会館
- 2) 認定一般検査技師制度認定試験を実施した。  
平成21年11月15日(日)、会場：日本損保会館
- 3) 認定臨床染色体遺伝子検査師制度認定試験を実施した。  
平成21年12月6日(日)、会場：当会会館
- 4) 各認定試験の受験者数と合格者数は以下のとおりである。
  - ・ 認定一般検査技師制度 : 98名受験、38名合格
  - ・ 認定心電検査技師制度 : 164名受験、122名合格
  - ・ 認定臨床染色体遺伝子検査師制度 : 2名受験、合格者なし
  - ・ 認定遺伝子検査師制度 : 4名受験、3名合格

### 54. 臨床検査技師認定機構による認定制度

本機構に参加している各学会(検査血液学会は除外)、審議会、協議会に役員を派遣し情報交換等を行った。

- 1) 認定輸血検査技師認定制度  
同認定制度審議会が平成21年9月16日(水)に、協議会が平成21年9月24日(木)に開催され、それぞれ対応した。
- 2) 認定臨床微生物検査技師制度  
同認定制度協議会が平成21年11月6日(金)に開催された。
- 3) 日本サイトメトリー技術者認定制度  
同制度審議会・協議会が、平成21年6月20日(土)に開催された。
- 4) MR専門技術者認定制度  
MR専門技術者認定機構理事会が、平成21年6月11日(木)に開催され対応した。
- 5) 認定血液検査技師制度協議会  
同制度協議会・審議会が、平成21年12月25日(金)に開催され対応した。

### 55. その他の各種認定制度への対応

- 1) 認定CRC制度
  - (1) 当会が開催担当団体として「第9回CRCと臨床試験を考える会議2009 in 横浜」を、平成21年9月12日(土)・13日(日)に開催した。
  - (2) 準備のため、日臨技運営委員会とプログラム委員会を開催に至るまで実施した。
  - (3) 「第8回臨床試験とCRCに関する研修会」を、平成22年3月20日(土)～22日(月)に当会会館で開催した。受講者は40名であった。
- 2) 日本糖尿病療養指導士  
日本糖尿病療養指導士認定機構が発行している「CDEJ News letter」の情報コーナーで、認定更新に必要な臨床検査技師関連研修会等を会員に広報した。
- 3) NST-栄養サポートチーム  
「平成21年度 NST研修会」を平成22年3月7日(日)にチサンホテル心斎橋で開催した。受講者は93名であった。
- 4) MR専門技術者認定  
平成22年度以降は、認定取得者の急増は見込めないことから、認定協議会への参加については継続するが、試験委員会等への関与は行わないこととした。機構への役員派遣については、今後は理事を派遣することとした。
- 5) 認定あり方検討会

日臨技認定制度に関する当会としての方向性を明確にするため、平成21年7月11日（土）に日臨技会館にて実施した。（既存認定制度の運営について、認定監理技師制度等を含む新規認定制度および臨床検査技師を対象とした他学会との認定制度について等）

#### 6) 総合監理技師制度

本制度については学術事業部においてWGを立ち上げ、平成22年1月21日（第1回：当会会館）、平成22年2月13日（第2回：当会会館）、平成22年3月13日（第3回；当会会館）の計3回の会合を実施した。この結果を平成22年度の認定担当理事へ報告し、本格的な準備に結びつけることとした。

### ◇ 出版事業部

#### 56. 会誌「医学検査」の編集・発行

会誌「医学検査」の編集を以下のとおり行った。

##### 1) 投稿・依頼論文

投稿論文：100編（3月13日現在）

- ・平成18年度日臨技助成研究報告：2編
- ・平成19年度日臨技助成研究報告：2編
- ・青年海外協力隊「シニア海外ボランティア」：6編

##### 2) 特集内容

- ・「日本神経病理学会 プリオン病剖検・病理検査ガイドライン 2008」
- ・「新型インフルエンザ対策緊急研修会「新型インフルエンザ第2波に備えて」

##### 3) 論文査読

査読に関しては迅速な処理を目指すとともに、著者の論説を尊重しながら投稿初心者には適切な指導を行うよう努めた。

##### 4) 表紙体裁

表紙の体裁は第59巻1号から、第59回医学検査学会開催担当技師会<和歌山県臨床衛生検査技師会>が希望する「オレンジ色」を採用することとした。

#### 57. 会報JAMTの企画・編集

図書発刊企画委員会が担当し、論説、情報などを掲載した。

#### 58. 図書発刊

平成21年度における新刊の発行および新刊発刊予定の書籍は以下のとおりである。

##### 1) 新刊

- ・「認定心電技師のための心電図の読み方」平成21年5月31日に発刊した。
- ・「染色体遺伝子検査に基礎と臨床応用」と「臨床検査精度保証教本」を22年3月30日に発刊した。

### ◇ 国際事業部

#### 59. 大韓臨床病理士協会(KAMT)との交流

- 1) 平成21年度第1回日韓代表者会議を、平成21年6月19日（金）韓国<大田コンベンションセンター>において開催され、小崎会長、谷口常務理事を派遣した。
- 2) 平成21年度第2回日韓代表者会議が、平成21年7月29日（水）<パシフィコ横浜>において開催された。日韓協定に基づき、代表団3名および功労者表彰者1名を招聘した。

## 60. 第3回「アジア臨床検査技師会(AAMLS)学会」

第3回AAMLS学会・理事会を開催し、報告については以下のとおりであった。

### 1) 第3回AAMLS学会

会期 2009年(平成21年)7月30日、31日

場所 横浜パシフィコ

- ◇学会長講演：「日本における認定技師制度」 小崎繁昭、(社)日本臨床衛生検査技師会
- ◇特別講演Ⅰ：「再生医療における現状と未来」 浅島 誠、東京大学理事一同副学長
- ◇特別講演Ⅱ：「遺伝子チップの先端技術」 三代俊治、東芝病院研究部長
- ◇ シンポジウムⅠ：「Innovation of technology」  
韓国、マレーシア、シンガポール、台湾、日本
- ◇シンポジウムⅡ：「Innovation of strategy」  
タイ、フィリピン、インドネシア、日本
- ◇学生フォーラム タイ、インドネシア、インド、台湾、韓国、日本
- ◇一般演題 70 題(学生フォーラムを含む)
- ◇参加人数 193名(日本人114名を含む)

### 2) AAMLS理事会

フィリピン、タイ、インドネシア、シンガポール、ベトナム、マレーシア、韓国、香港、台湾、日本が参加し開催された。

尚、ブルネイ、中国、インドは不参加であった。

主な審議事項

- \*台湾がAAMLSの新しいメンバーとして承認された。
- \*第4回AAMLS学会はシンガポールで開催されることが承認された。
- \*今後4年間の執行体制は以下の通りになった。  
会 長：Rachana Santiyanont氏(タイ)  
副会長：Eddie Ang san氏(シンガポール)、James Chang氏(台湾)  
会 計：Woon Song thong氏(マレーシア)

## 61. 中華民国技師会(CAMT)＜台湾臨床検査技師会(TAMT)＞への対応

昨年同様に同技師会との学術を中心とした交流を実施した。

## 62. 開発途上国への技術支援

開発途上国技術支援の一環として、例年どおり英文フォトサーベイAAMLS加盟11カ国1地域およびJICA検査技術コース研修員を含めて実施する準備を進めた。

## 63. 個別研修・集団研修への協力

昨年度に引き続き、国際医療技術交流財団(JIMTEF)が実施する個別研修・集団研修への協力を強化させAAMLS加盟国間のネットワークづくりのため日本で研修を終えた研修生への情報支援をした。

## 64. IFBLS2009の活動への支援

- 1) 2009年11月20日(金)～22日(日)に千葉・幕張メッセで開催されたIFBLS評議員会・代表者会議の準備を支援し、小崎会長、国際部(湯浅、小松、下田各常務理事)を派遣した。
- 2) IFBLSのアンケートの協力や資料・情報の提供などを行い、IFBLSより発信される各種の情報の日臨床会員への提供、世界医学検査デー広報活動の推進、ホームページを通じた連携強化に努めた。
- 3) IFBLS expart group活動に、資料の提供と日本の情報調査部からe-learningの技術支援を行った。

## 65. 関連団体への協力

医学検査学会展示会等において、国際協力機構(JICA)や国際医療技術交流財団(JIMTEF)が展開する広報活動に協力した。